

働き方・行政改革推進本部（幹事会）結果

（議題） 指定管理者候補の選定について

令和7年8月

1 指定管理者候補の選定について

働き方・行政改革推進本部幹事会において、文化スポーツ観光局、福祉子どもみらい局、産業労働局、教育局が設置する外部評価委員会の評価を踏まえ、県民ホール（神奈川県芸術劇場）及び音楽堂、神奈川県近代文学館、神奈川県ライトセンター、かながわ労働プラザ、足柄ふれあいの村、愛川ふれあいの村の指定管理者候補を選定した。

2 働き方・行政改革推進本部幹事会の開催状況

(1) 構成員

政策局副局長、総務局副局長、くらし安全防災局副局長、文化スポーツ観光局副局長、環境農政局副局長、福祉子どもみらい局副局長、健康医療局副局長、産業労働局副局長、県土整備局副局長、会計局副局長、横須賀三浦地域県政総合センター副所長、県央地域県政総合センター副所長、湘南地域県政総合センター副所長、県西地域県政総合センター副所長、企業局副局長、議会局副局長、教育局副局長、人事委員会副事務局長、監査事務局総務課長、労働委員会副事務局長、警察本部警務課企画室長

(2) 開催日

令和7年8月19日(火)

(参考) 働き方・行政改革推進本部幹事会までの選定経過

外部評価委員会

・ 構成員

有識者等5～7名（原則として、学識経験者、経理に識見を有する者、法務に関する識見を有する者、労務管理に関する識見を有する者、施設利用者代表等から選任）

・ 開催状況

施設名	外部評価委員会名称	開催回数	開催日
県民ホール（神奈川県芸術劇場）及び音楽堂	神奈川県立県民ホール（神奈川県芸術劇場）及び音楽堂指定管理者外部評価委員会	2回	令和6年10月23日(水) 令和7年7月16日(水)
神奈川県近代文学館	神奈川県立神奈川県近代文学館指定管理者外部評価委員会	2回	令和6年10月23日(水) 令和7年7月25日(金)
神奈川県ライトセンター	神奈川県立障害者福祉関係施設指定管理者評価委員会	3回	<書面開催> 令和6年10月18日(金) ～10月22日(火) 令和7年3月18日(火) 令和7年7月18日(金)
かながわ労働プラザ	神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会	2回	令和6年10月30日(水) 令和7年7月3日(木)

施設名	外部評価委員会名称	開催回数	開催日
足柄ふれあいの村	神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会	3回	令和6年10月18日(金) 令和7年1月23日(木) 令和7年7月9日(水)
愛川ふれあいの村	神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会	3回	令和6年10月18日(金) 令和7年1月23日(木) 令和7年7月9日(水)

・外部評価の状況

申請団体から提出された申請書について、選定基準に沿って評価を行った。

3 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

施設番号 1：県民ホール（神奈川芸術劇場）及び音楽堂

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	公益財団法人神奈川芸術文化財団
選定理由	神奈川県立県民ホール（神奈川芸術劇場）及び音楽堂指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ 市町村や団体等との連携により、県の文化芸術の拠点施設としての役割を果たすべく実効性のある運営方針となっていることは評価できる。 ○ 高い専門性を持つ人員を配置し、経験やノウハウを2館で共有して施設の維持管理及び事業を行うことは評価できる。 ○ 県域展開事業について、具体的な提案があり、県民ホール（本館）の休館に伴う県民の文化芸術活動や鑑賞機会の減少を補うための取組を充実させようとしていることは評価できる。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額の積算は適切になされている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 公演来場者が、障がいのある方々から商品を直接購入できるように機会を提供するなど、障がい者に配慮した取組を実施していることは評価できる。 ○ グリーンシアターのように、環境に配慮した持続可能な舞台芸術を考えていくことは評価できる。 ○ 様々な自主事業を実施するとともに、県内外の公立劇場等との連携やインクルーシブ対応への取組なども進めており、2館における事業のより一層の充実が期待できる。 ○ 時間外手当の計算誤りや長時間労働等について、労働基準監督署から指摘を受けたが、速やかに対応し是正に向けて着実に取り組んでいる。

(2) 神奈川県立県民ホール（神奈川芸術劇場）及び音楽堂指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (55点)	管理経費の節減等 (20点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	公益財団法人神奈川芸術文化財団 (横浜市)	44	20	17	81

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

公益財団法人神奈川芸術文化財団を指定管理者候補として選定する。

施設番号 2 : 神奈川近代文学館

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	公益財団法人神奈川文学振興会
選定理由	神奈川県立神奈川近代文学館指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ 専門的でありながら、初心者にもわかりやすい展示やアニメなど他業種とのコラボなど、若年層や文学に興味のない人などを意識した取組について評価できる。 ○ 作家、作家遺族等との信頼関係、結びつきが大変強く、今後も多くの資料の寄贈が見込まれることから、収蔵資料のより一層の充実が期待できる。 ○ 当初の収蔵可能点数以上の資料を工夫して保管していることや細心の注意を払った修復、保管について評価できる。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額の積算は適切になされている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 多彩なテーマの展覧会を開催するとともに、講演会や講座、朗読会、子ども向けの様々な事業を展開し、読書文化の振興や若年層の活字離れ、文学離れの抑止に取り組んでいることは評価できる。 ○ これまで労災があまり発生していないこと、個人情報漏洩等の不祥事がないことは評価できる。

(2) 神奈川県立神奈川近代文学館指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (55点)	管理経費の節減等 (20点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	公益財団法人神奈川文学振興会 (横浜市)	51	20	21	92

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

公益財団法人神奈川文学振興会を指定管理者候補として選定する。

施設番号 3 : 神奈川県ライトセンター

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補		特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会
選定理由	神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ すべての項目で良好な評価が得られている。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額の積算は適切になされている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 財政的な能力の項目において、手元資金の少なさや経理体制に懸念はあるが、その他の項目については良好な評価が得られている。	

(2) 神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (70点)	管理経費の節減等 (5点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会（座間市）	70	5	23	98

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者福祉協会を指定管理者候補として選定する。

施設番号 4 : かながわ労働プラザ

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	公益財団法人神奈川県労働福祉協会
選定理由	神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ 指定管理業務に対する考え方や運営方針は、施設の設置目的に資するものであり評価できる。 ○ WEB会議用設備の充実、イベント開催の強化、デジタルを活用した広報戦略など、施設利用促進のための具体的な取組を計画していることは評価できる。 ○ 事故・災害時の対応について、BCPの策定や救急救命研修体制など適切な体制が構築されていることは評価できる。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額は適切に積算されており、かつ、県の積算額を下回った提案額となっている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 職員が安心して働ける環境を整備することは、サービスの質向上にも直結するとし、労働時間の短縮、ハラスメント対策等に取り組むとしていることは評価できる。

(2) 神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (55点)	管理経費の節減等 (20点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	公益財団法人神奈川県労働福祉協会 (横浜市中区)	43	20	19	82

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

公益財団法人神奈川県労働福祉協会を指定管理者候補として選定する。

施設番号5：足柄ふれあいの村

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	株式会社アグサ
選定理由	神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ 不登校対策自然体験活動（きんたろうキャンプ）については、事業の目的や施設の役割を理解し、取り組む姿勢に工夫が感じられるほか、他の施設や機関との連携など、積極的な事業展開が高く評価できる。 ○ 地元企業であることを活かし、自社が指定管理を行う近隣施設と直営施設との連携、地域との関係性を活かした他の企業との連携、地域人材の活用などが期待できることは高く評価できる。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額の積算は適切になされている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 財政的な能力について自己資本比率が低い点に懸念はあるが、継続的な収益性は確保されており、改善傾向にあること、流動比率は一定水準以上が確保されていることを踏まえ、指定管理者としての業務遂行能力に必要な安定した経営基盤を有しており、施設運営に問題ないとの評価を得ている。

(2) 神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (55点)	管理経費の節減等 (20点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	株式会社アグサ（南足柄市）	47	20	20	87

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

株式会社アグサを指定管理者候補として選定する。

施設番号6：愛川ふれあいの村

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ
選定理由	神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。 【サービスの向上】 ○ 新たなプログラムの開発や各年代を対象とした主催事業の拡充など、多くの具体的な新規事業が提案されていることは高く評価できる。 ○ 学校利用に対しては、学校の立場に立った個別の支援やモデルプランの提示等、具体的な対策が提案されていることは高く評価できる。 【管理経費の節減等】 ○ 提案額の積算は適切になされている。 【団体の業務遂行能力】 ○ 財政状況は健全であり経営成績は堅調に推移しており、安定した経営基盤を有している。 ○ 現在の施設の弱みを把握したうえで、グループの他の指定管理施設等で得たノウハウを活用した相乗効果が期待できる提案となっており、多くの施設の管理実績がある応募団体の強みが発揮されていることは高く評価できる。

(2) 神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (55点)	管理経費の節減等 (20点)	団体の業務遂行能力 (25点)	
1	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ（東京都世田谷区）	45	20	22	87

(3) 働き方・行政改革推進本部幹事会における選定結果

東急コミュニティー・国際自然大学校グループを指定管理者候補として選定する。

4 議事録（議事要旨）

指定管理者候補の選定は、働き方・行政改革推進本部の所掌事項であるが、令和6年度第4回働き方・行政改革推進本部において、庁内手続の簡素化を議題として諮り、1者応募または非公募で他団体との比較検討を要しない施設を「幹事会」での決定事項とし、複数応募があり他団体との比較検討を要する施設を「推進本部」での決定事項とすることで了承されたところである。

今回の指定管理者候補の選定は、全て1者応募または非公募の施設であり、幹事会で議題について異論はなかったため、原案のとおり決定とした。

幹事会の結果について、働き方・行政改革推進本部構成員に報告したところ、意見はなかった。